

Online ISSN : 2185-8195

Print ISSN : 0021-485X

ISSN-L : 0021-485X



華北蒙疆造林關係文獻蒐録(一)

佐藤 敬二

著者情報

ジャーナル フリー

1940年 22巻 9号 p. 538-543

DOI https://doi.org/10.11519/jjfs1934.22.9_538

詳細

PDFをダウンロード (536k)

メタデータをダウンロード

RIS形式

(EndNote、Reference Manager、ProCite、RefWorksとの互換性あり)

BIB TEX形

式

(BibDesk、LaTeXとの互換性あり)

テキスト

[メタデータのダウンロード方法](#)

発行機関連絡先

記事の1ページ目

記事の概要

[前の記事](#)

お気に入り & アラート

お気に入りに追加

追加情報アラート

被引用アラート

認証解除アラート

閲覧履歴

前身誌

林學會雑誌

後続誌

日本森林学会誌

日本林学会誌

このページを共有する



資料を探す

すべてのジャーナルから探す

すべての専門分野から探す

すべての発行機関から探す

J-STAGEについて

J-STAGE概要

閲覧者の方へ

発行機関の方へ

論文著者の方へ

外部サービスとの連携

公開データ

サポート & ニュース

ニュース

ガイドラインとマニュアル

発行機関向け情報

J-STAGEのその他のサービス

FAQ

お問い合わせ

推奨環境

利用規約 & ポリシー

利用規約 & ポリシー

(個人利用者向け)

利用規約 & ポリシー

(発行機関向け)

思覺失調症 (拉丁語: **Schizophrenia**) 是精神疾病的一種。其特徵為患者出現異常的行為和不能理解什麼是真實的。台灣、中國大陸和香港以往皆譯作精神分裂症，乃直譯拉丁文名稱「**Schizophrenia**」而來，台灣後來則改譯為「思觉失调症」。常見的症狀包括錯誤信念 (**false beliefs**)，不易瞭解或混亂的思維，聽到其他人聽不見的聲音，妄想、幻覺、幻聽、社會參與和情緒表達的程度減少，以及缺乏動機。思覺失調症患者通常伴有其他心理上的健康問題，例如焦慮症、臨床抑郁症或藥物濫用障礙。症狀通常逐漸地出現，且一般在成年早期開始，並持續一段長時間。精神分裂症的成因包括環境因子及遺傳因子。